

育児しやすい東京・日本に！

くわばたりえ

ママ友会の光景



「育児しやすい東京・日本に！」

- 6歳・3歳・1歳 3人のママ
- 約6年、月1でメガネのママ友会を開催
- その中で感じるのは ⇒ 「孤独な育児」
 - ① パパの仕事が忙し過ぎる
 - ② 両親、義両親が遠方において頼れない。
 - ③ 育児の大変さを、わかってもらえない。

育児の大変さを 1人でも多くの人に 知ってほしい！

- 結婚したら子供を！毎日楽しいはず、と思っていた。
⇒ 現実とは全く違った
- 中学や高校の授業で、**子供を授かり育てる大変さ**を学ぶ
 - 赤ちゃんを抱っこしてみる。オムツを替えてみる。
現役ママに話を聞いてみる。
- 「将来、子を持った時に」を学生時代から考える

イクメンという言葉無くしたい！

- パパの育児休暇をとれる世の中に！
- 最低でも**パパの時短育児休暇を100%**に！
 - 朝1時間出勤を遅らせ、夕方1時間帰宅を早く
- 子供と一緒に時間をパパが持つことで、育児の大変さがわかる
- えっ？イクメンて何？
～パパが育児するなんて当たり前なのにね～

全ての子供が保育園を利用できるようにしたい！

- 多くのママは、子供を持って初めて大変さを痛感
- ママが育児をするのは当たり前。でも・・・
1人で育児するのを当たり前にしてはダメ
- 10年、20年後には、みんなで育児できる世の中が
当たり前
- 「欲しい」で終わらせるのではなく、それを実現したい